

2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年7月31日

上場会社名 カーリットホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4275 URL <http://www.carlithd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 廣橋 賢一
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 澤 幸之 TEL 03-6893-7060
 四半期報告書提出予定日 2019年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	12,467	0.0	241	△31.3	344	△24.9	195	△32.2
2019年3月期第1四半期	12,471	4.4	351	52.8	458	47.0	288	39.2

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 98百万円 (△81.7%) 2019年3月期第1四半期 539百万円 (△16.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	8.25	—
2019年3月期第1四半期	12.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	53,746	26,564	49.4	1,122.08
2019年3月期	53,712	26,752	49.8	1,130.06

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 26,564百万円 2019年3月期 26,752百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	12.00	12.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,000	△0.1	2,200	△5.5	2,350	△7.9	1,600	1.3	67.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料 8 ページの「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1 Q	24,050,000株	2019年3月期	24,050,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期1 Q	376,064株	2019年3月期	376,040株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1 Q	23,673,952株	2019年3月期1 Q	23,674,127株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する主旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料 3 ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（その他特記事項）

該当事項はありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは、2019年度を初年度とする3ヵ年の新中期経営計画「ワクワク21」を策定し、スタートさせました。

当計画の基本テーマとして「利益指向で事業の足場固めを積み重ね、新たな取り組みに向けて経営資源を投入する」ことを掲げ、付加価値の高い製品やサービスを創出し、新たな事業領域を切り拓いていくための諸施策を遂行します。

グループ経営理念である「信頼と限りなき挑戦」のもと、少子高齢化やAI・IoT、SDGs等の社会課題と向き合い、研究開発、新規事業、M&A、海外事業等への取り組みをより積極的にを行い、既存・周辺事業についても基盤強化を図ってまいります。

(1) 経営成績に関する説明

米中貿易摩擦の影響が、前連結会計年度の第4四半期連結会計期間より当社業績への急速な減速をもたらし、現状においても継続しております。

その結果、当第1四半期連結累計期間において連結売上高は、124億6千7百万円（前年同期比 4百万円減）となりました。連結営業利益は2億4千1百万円（前年同期比 1億1千万円減、同31.3%減）、連結経常利益は3億4千4百万円（前年同期比 1億1千3百万円減、同24.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億9千5百万円（前年同期比 9千2百万円減、同32.2%減）となりました。

セグメント別の状況は以下の通りです。

(単位：百万円)

区分	連 結 売 上 高		連 結 営 業 利 益	
	前第1四半期	当第1四半期	前第1四半期	当第1四半期
化学品	5,458	5,458	378	313
ボトリング	4,321	4,468	△154	△124
産業用部材	2,292	2,040	136	△17
小 計	12,071	11,966	360	171
その他・消去	400	500	△9	69
合 計	12,471	12,467	351	241

「化学品事業部門」

化薬分野においては、自動車用緊急保安炎筒は、新車装着向け、車検交換向けとも増販に、高速道路用信号炎筒も増販となりました。煙火関連も増販となりました。一方で、産業用爆薬は土木案件の減少により減販となり、分野全体としては微増となりました。

受託評価分野においては、危険性評価試験は大幅な減販、電池試験も減販となり、分野全体としては大幅な減販となりました。

化成品分野においては、ロケットの固体推進薬原料である過塩素酸アンモニウムは増販となりました。また除草剤、過塩素酸も増販となりましたが、パルプ漂白用の塩素酸ナトリウムが顧客の定修等の影響により減販となり分野全体としては減販となりました。

電子材料分野においては、機能性高分子コンデンサ向けピロール関連製品、電気二重層キャパシタ用電解液、アルミ電解コンデンサ向け材料は減販となりましたが、チオフェン系材料と電池材料向けの過塩素酸リチウムが大幅な増販に、イオン導電材料が増販となり、分野全体としては増販となりました。

セラミック材料分野は、国内主要砥石メーカーの不調の影響を受け減販となりました。

その他では、販売商社である佳里多（上海）貿易有限公司が大幅な増販に、三協実業株式会社は減販となりました。

これらの結果、当事業部門全体の売上高は前年同期とほぼ同額の54億5千8百万円、営業利益は3億1千3百万円（前年同期比 6千5百万円減、同17.4%減）となりました。

「ボトリング事業部門」

缶製品が微減となったものの、主力の茶系飲料と炭酸飲料などの委託品が増販となりました。

これらの結果、また例年実施している定期修繕の影響により、当事業部門全体の売上高は44億6千8百万円（前年同期比 1億4千7百万円増、同3.4%増）、営業損失は1億2千4百万円（前年同期は1億5千4百万円の営業損失）となりました。

「産業用部材事業部門」

シリコンウェーハは、米中貿易摩擦の影響により減販となりました。

耐火・耐熱金物は、都市ごみ焼却場等の新設案件や海外向けの増加により増販に、ばね・座金製品は減販となりました。

これらの結果、当事業部門全体の売上高は20億4千万円（前年同期比 2億5千2百万円減、同11.0%減）、営業損失は1千7百万円（前年同期は1億3千6百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は537億4千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ3千3百万円増加いたしました。これは、受取手形及び売掛金が5億9千6百万円減少、ならびに投資有価証券が1億6千1百万円減少したものの、現金及び預金が3億1千3百万円増加、たな卸資産が2億3千万円増加、その他流動資産に含まれる未収法人税等が2億7千4百万円増加したことなどによります。

負債は271億8千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億2千2百万円増加いたしました。これは、支払手形及び買掛金が1億1千万円増加、賞与引当金が2億7千1百万円増加したものの、長短借入金が1億7千5百万円減少したことなどによります。

純資産は265億6千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億8千8百万円減少いたしました。これは、その他有価証券評価差額金が1億1千7百万円減少したことなどによります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の49.8%から49.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月15日の2019年3月期決算短信で公表しました連結通期業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,357	4,671
受取手形及び売掛金	13,428	12,832
商品及び製品	2,365	2,520
仕掛品	774	751
原材料及び貯蔵品	1,452	1,550
その他	844	1,134
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	23,220	23,458
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,502	9,411
機械装置及び運搬具(純額)	4,114	4,106
土地	5,533	5,533
建設仮勘定	262	279
その他(純額)	1,832	1,794
有形固定資産合計	21,245	21,125
無形固定資産		
のれん	95	83
その他	50	47
無形固定資産合計	145	130
投資その他の資産		
投資有価証券	8,113	7,952
退職給付に係る資産	8	8
その他	982	1,074
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	9,101	9,031
固定資産合計	30,492	30,287
資産合計	53,712	53,746

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,354	7,465
短期借入金	3,228	3,412
1年内返済予定の長期借入金	1,741	1,747
未払法人税等	450	165
賞与引当金	584	855
その他	2,195	2,616
流動負債合計	15,555	16,263
固定負債		
長期借入金	3,906	3,541
環境対策引当金	76	76
役員株式給付引当金	62	69
退職給付に係る負債	1,208	1,199
その他	6,149	6,031
固定負債合計	11,404	10,918
負債合計	26,960	27,182
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,099	2,099
資本剰余金	1,192	1,192
利益剰余金	20,114	20,021
自己株式	△208	△208
株主資本合計	23,197	23,105
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,740	3,622
繰延ヘッジ損益	△0	△10
為替換算調整勘定	74	94
退職給付に係る調整累計額	△259	△248
その他の包括利益累計額合計	3,555	3,458
純資産合計	26,752	26,564
負債純資産合計	53,712	53,746

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	12,471	12,467
売上原価	10,536	10,635
売上総利益	1,935	1,832
販売費及び一般管理費	1,584	1,591
営業利益	351	241
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	101	106
持分法による投資利益	5	4
雑収入	28	25
営業外収益合計	135	135
営業外費用		
支払利息	20	22
為替差損	—	6
雑損失	8	3
営業外費用合計	28	32
経常利益	458	344
特別利益		
固定資産売却益	0	0
補助金収入	—	0
特別利益合計	0	1
特別損失		
固定資産除却損	34	33
特別損失合計	34	33
税金等調整前四半期純利益	423	312
法人税等	134	117
四半期純利益	288	195
親会社株主に帰属する四半期純利益	288	195

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	288	195
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	215	△117
繰延ヘッジ損益	31	△9
為替換算調整勘定	△6	20
退職給付に係る調整額	11	10
その他の包括利益合計	251	△96
四半期包括利益	539	98
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	539	98

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	化学品	ボトリング	産業用部材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,366	4,321	2,213	11,902	569	12,471
セグメント間の内部売上高 又は振替高	91	—	78	169	1,737	1,907
計	5,458	4,321	2,292	12,071	2,307	14,379
セグメント利益又は損失(△)	378	△154	136	360	1,339	1,700

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主要な製品・サービスは請負工事、塗料・塗装、設計等であり、持株会社である当社を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	360
「その他」の区分の利益	1,339
セグメント間取引消去	△1,348
四半期連結損益計算書の営業利益	351

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	化学品	ボト リング	産業用 部材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,370	4,468	1,983	11,822	645	12,467
セグメント間の内部売上高 又は振替高	88	—	56	144	1,574	1,719
計	5,458	4,468	2,040	11,966	2,220	14,187
セグメント利益又は損失(△)	313	△124	△17	171	1,143	1,315

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主要な製品・サービスは請負工事、塗料・塗装、設計等であり、持株会社である当社を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	171
「その他」の区分の利益	1,143
セグメント間取引消去	△1,073
四半期連結損益計算書の営業利益	241

(重要な後発事象)

該当事項はありません。